

第3回「和船競漕大会」開催される

海洋国日本の繁栄を願う日として、平成8年に国民の祝日7月20日が「海の日」となったことは、本県としても大変喜ばしいことである。

そこで、和船による漁業及び海上交易が盛んであった往時を偲び、小学生によるボート競技や和船とクルマガイ(車権)を使用した職場対抗競漕等を実施し、権を漕ぐ技法の伝承を図るとともに、この行事を継続的に実施することにより、青森県の夏の風物詩、伝統的な行事を育てることを目的として、県内各地から17チームが参加し、昨年に引き続き「和船競漕大会」が去る7月20日に青森市青い海公園前で開催された。

和船は、昭和30年代ごろまで県内でコンブやエゴノリ漁などに広く使われていた木製の小船で、みちのく北方漁船博物館が収蔵していたものを使用した。

参加者は4人1チームとなり、独特のこぎ方を要する「車権」で和船を200m走らせながら、大半が「車権」は未経験とあって船の操作が難しく、観客からは拍手や笑いが巻き起こっていた。

大会関係者は、来年以降も引き続き和船競漕大会が開催されるので、是非ご参加をいた

だきたいと呼びかけていた。

レース結果は次のとおり

- 優勝 野牛漁業協同組合(2年連続優勝)
- 準優勝 鱸作漁業協同組合
- 第3位 野辺地町漁業協同組合
- 第4位 後潟漁業協同組合
- 第5位 六ヶ所村漁業協同組合
- 第6位 ホソイチ



主催者の挨拶を述べる植村大会委員長



和船競漕風景



2年連続優勝の喜びを語る野牛漁協チーム